

電磁波吸収体の基礎と 広吸収帯域化技術【名古屋開催】

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時: 2021年4月9日(金)13:00~16:00
- ◆会場: 東桜会館 集会室
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)
 ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 同志社大学 理工学部電子工学科 教授 博士(工学) 吉門 進三 氏

【受講対象】

製造業務にたずさわって2~3年の若手技術者や新人の方。

【必要な予備知識】

特に予備知識は必要ありません。基礎から解説いたします

【習得できる知識】

正しい電磁波吸収体の設計法が理解できる

【講演の趣旨】

波長が数メートルから数ミリメートルまでの範囲(マイクロ波・ミリ波あるいはギガヘルツ波)の電磁波(電波)を用いる技術において、電波相互干渉による誤動作等の対策の一つとして不要電波除去のための電磁波吸収体の設置があります。電磁波吸収体の設計には電磁波と相互作用する材料の性質あるいは複数の材料よりなる場合にはその構造も重要な要素となります。本講座は、ギガヘルツ電磁波における材料と電磁波の相互作用に関して、その応用を念頭に置いています。相互作用の結果として、材料の種類、形状等に関連した特徴のある反射・透過・吸収特性を示します。その部分を材料が有する誘電率・透磁率等の固有の性質等を用いて分かりやすい図・数式を用いて講義を行います。必要な基礎知識は講義の際にできる限り説明を行います。電波の応用範囲は極めて広いが、学際分野でもあるために、取り組みにくいテーマでもあります。その壁をできるだけ乗り越えやすくするために、本質部分を分かりやすく講義し、できるだけ多くの受講者の方に役に立つ講座を目指します。

【プログラム】

- 電磁波
 - 電磁波とは
 - 電磁波の発生・センシング方法
- 電磁波吸収体の基礎
 - 定義
 - 原理(吸収メカニズム)
 - 種類(形状等)
- 電磁波吸収帯材料の電気磁気的な性質
 - 導電率, 複素誘電率, 複素透磁率
- 電磁波の反射・透過のメカニズム
- 電磁波吸収体の評価方法
 - 吸収体材料評価法
 - 吸収特性の評価法
- 電磁波吸収体の広吸収帯域化技術
 - 設計指針
 - 吸収体材料選択
 - 吸収体形状選定
 - 例

【質疑応答・名刺交換】

『電磁波吸収【名古屋開催】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。
 セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>